

経済論叢別冊

調査と研究

第34号

2007年4月

特集 技術系人材のキャリア開発

企業研究者に期待されるキャリア・コンピテンシー
と複線型人事制度

——主要製薬企業9社調査に見る ニーズと課題——	若西松本	林岡山間	直由一利	樹美紀通	1
-----------------------------	------	------	------	------	---

研究開発のイノベーション・マネジメント

——研究開発プロセスにおける組織マネジメントと外部連携の実態調査を中心に——	山中	岡谷	光	徹博	18
--	----	----	---	----	----

成果主義導入組織におけるエンプロイヤビリティと
組織コミットメントの関係

——電機メーカー3社のアンケート調査と データ分析に基づく考察——	西脇	暢子			38
--------------------------------------	----	----	--	--	----

研究開発人材における雇用の流動化と
人材活用システム

——専門技術者の実態と研究人材 交流策に関する調査より——	中谷	光博			62
----------------------------------	----	----	--	--	----

研究開発人材のキャリア開発

——キャリア開発の管理的視点——	本中	間本	利龍	通市	78
------------------	----	----	----	----	----

京都大学経済学会

「経済論叢」「調査と研究」執筆要領（抄）

1998年6月

京都大学経済学会編集委員会

1. 本学会の正会員は投稿することができる。執筆者が2名以上の場合は、少なくとも1名は正会員でなければならない。
2. 本学会評議員以外の正会員の投稿原稿については、編集委員会にて審査を行い掲載の採否を決定するが、必要に応じて執筆者にリライトを求めることがある。
3. 掲載された論文等の著作権は原則として本学会に帰属するものとする。他の出版物にその一部、または全てを転載する場合には、著者はその旨を本学会に連絡し、既に本誌に掲載されたことを明示すること。
4. 投稿者は投稿原稿を提出する際、学会事務局に備えてある「論文提出明細書」を記入して添付すること。
5. 投稿者は原則として本執筆要領にもとづいて投稿すること。
6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。手書き原稿の場合は学会所定の原稿用紙を用い、ワープロ原稿の場合はフロッピーとプリントアウトした原稿を3部提出すること。ワープロ原稿はテキストファイルとし、利用したOS、ソフト名を明記すること。
7. 投稿原稿にはタイトルと氏名、英文タイトルを記入した表紙を付けること。
8. 原稿の制限枚数は下記のようにする。

「経済論叢」 論文：200字詰原稿用紙85枚以内、ワープロ原稿17,000字以内。
研究ノート：200字詰原稿用紙60枚以内、ワープロ原稿12,000字以内。
書評：200字詰原稿用紙40枚以内、ワープロ原稿8,000字以内。
図版および表は1枚400字（原稿用紙2枚）に換算する。
- 「調査と研究」は論文、研究ノート、調査、サーベイ等全てを200字詰原稿用紙170枚以内、ワープロ原稿34,000字以内とする。図版および表は1枚400字（原稿用紙2枚）に換算する。
9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

執筆者紹介 (掲載順)

若林直樹	京都大学大学院経済学研究科准教授
西岡由美	湖北短期大学総合ビジネス学科専任講師
松山一紀	近畿大学経営学部准教授
本間利通	流通科学大学情報学部専任講師
山岡徹	横浜国立大学経営学部准教授
中谷光博	産業技術総合研究所研究員
西脇暢子	日本大学経済学部准教授
中本龍市	京都大学大学院経済学研究科学生

調査と研究 第34号

平成19年4月1日 印刷

平成19年4月10日 発行

京都市左京区吉田本町
京都大学経済学会

印刷所 (株)富山房インターナショナル

THE RESEARCH AND STUDY

(Special Issue of the Economic Review)

No. 34

April 2007

CONTENTS

Special Issue

Career Development for Technical Professionals

Career Competencies and Dual Ladder System for
Corporate Researchers: A Case Study of
Nine Pharmaceutical Companies in Japan..... *Naoki WAKABAYASHI*
Yumi NISHIOKA
Kazuki MATSUYAMA
Toshimichi HOMMA

Innovation Management in Research and Development..... *Toru YAMAOKA*
Mitsuhiro NAKAYA

Employability and Organizational Commitment
in Organizations adopting
Performance-Based Pay System *Nobuko NISHIWAKI*

Increasing Mobility of Employment and Human
Resource Management System
for R & D Workforce..... *Mitsuhiro NAKAYA*

Career Development in R & D Human Resource..... *Toshimichi HOMMA*
Ryuichi NAKAMOTO

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)